

2020年度 生活行為向上マネジメント研修会開催案内

生活行為向上マネジメント研修会開催案内

- A. 2020年11月15日(日) 9:10~12:50 MTDLP事例検討会
- ※ 本研修は生活行為向上マネジメント研修(概論・演習)修了者が対象です
 - ※ 現職者共通研修③と同時開催
 - ※ 本研修終了後に生活行為向上マネジメント実践者研修修了者となります
 - ※ 本研修は現職者共通研修「事例検討」「事例報告」と兼ねることができます

<各開催の詳細>

A. MTDLP事例検討会

日時： 2020年11月15日(日) 9:10~12:50

会場： 弘前医療福祉大学

〒036-8102 青森県弘前市大字小比内3丁目18-1

アクセス詳細は弘前医療福祉大学のホームページでご確認ください

<https://www.hirosakiuhw.jp/>

9:10~9:30 受付・開会

9:30~11:00 「MTDLP事例検討」・「MTDLP事例報告」

11:10~12:40 「MTDLP事例検討」・「MTDLP事例報告」

弘前脳卒中・リハビリテーションセンター

今井 寛人 氏

東北メディカル学院

藤嶋 聖子 氏

12:40~12:50 閉会・受講確認

上記研修会の申込み締め切りは、抄録の確認および資料印刷の都合上、

10月30日(金)17:00までです。

申込み方法はGoogle Formsを使用します。下記リンクから必要事項を入力して下さい。

https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLSeQGIL8BJUYXwtieZ0oQIUO_I5PNDTOiTZ9UNMVpQW9AJEsCA/viewform?usp=sf_link



スマートフォン、タブレット、PCから申し込み可能

事例報告受講者はファイルのアップがあるのでPCから登録してください

「MTDLP事例検討」：「MTDLP事例報告」受講者が提出する事例のもと実施される症例検討を聴講する。現職者共通研修「事例検討」に読み替えます

「MTDLP事例報告」：MTDLPを使用した事例を提出し、発表する。

現職者共通研修「事例検討」に読み替えます。

※事例を報告したものは修了後に生活行為向上マネジメント研修修了者となります

※事前の抄録提出および当日のスライドショーによる発表が必要です

※事例の提出方法は3ページを必ず参照してください

※報告する症例については必ず同意を得てください。

※抄録は上記 Google Forms から申し込みと同時に提出してください。

「事例報告」では、症例発表を実施するため、受講者の上限を定めております。

先着順で定員になり次第、申し込みを締め切らせていただきます。

参加申し込みについて

1. 申し込み方法

申し込みは Google Forms を使用します。不明な点などございましたら下記問い合わせ先までご連絡ください。

2. 参加費

1テーマあたり 1,000 円（当日会場で徴収します）

3. 締め切り

A 現職者共通研修①（弘前医療福祉大学）：2020年10月30日（金）17:00まで

※申込締切日までに申込者数が5名未満の場合は中止となります。中止の場合は、各研修会開催の3日前までに研修受講の際にご連絡いただいたメールに返信する形でお知らせいたします。

（受信設定などは必ず解除しておいてください）

4. 受講に必要なもの

OT協会会員証、研修受講カード、青森県士会会員証

※OT協会未加入者は受講できません。入会確認のために研修受講カードを確認します。

当日は研修受講カードを必ずご持参ください。

※OT協会加入を申請中の場合は受講できません。加入申請は早めに済ませてください。

5. 公文書

出張依頼に関する公文書が必要な方は、申込み時に「公文書郵送希望」の旨を連絡してください。なお、郵送期間を考慮し、研修会開催2週間前までに申し込みください。

6. 問い合わせ先

弘前大学大学院保健学研究科 内 教育部担当：小枝 周平

TEL：0172-39-5990 メールアドレス：aot_kyoiku@hirosaki-u.ac.jp

「MTDLP 事例検討」および「MTDLP 事例報告」参加要項

「MTDLP 事例検討」「MTDLP 事例報告」では報告書の提出と発表スライドによる口述発表となります。「MTDLP 事例報告」受講者は、事例の抄録、発表用スライド（ファイル）を必ず持参してください。「MTDLP 事例報告」は発表を行なわないと受講しても修了とはなりませんのでご注意ください。

1. 事例報告書の作成

事前に報告書を作成し、Google Forms から申し込みと同時に提出してください。

報告書の書き方は、日本作業療法士協会ホームページ会員向け情報の「事例報告登録のページ」に掲載されている「事例報告書作成の手引き（最新版）」の2) 事例本文の作成を参考にしてください。小見出し及び字数は、表題（50字以内）、1. 報告の目的（200字以内）、2. 事例紹介（400字を見安にする 600字まで可能）、3. 作業療法評価（600字を見安にする 800字まで可能）、4. 介入の基本方針（200字以内）、5. 作業療法実施計画（600字以内）、6. 介入経過（800字を見安にする 1000字まで可能）、7. 結果（400字を見安にする 700字まで可能）、8. 考察（700字以内）9. 文献（500字以内）とし、OT協会と同様です。以下の要項で作成してください。

- 1) 発表に関して OT協会HP内の「同意説明文書 生活行為向上マネジメント事例」に従い説明した後、発表する症例の同意を書面（「同意書 一般事例・生活行為向上マネジメント事例共通」）で必ず得てください。
- 2) A4版にMS明朝 10.5P、英数字は半角とし、40字×25行で作成して下さい。
- 3) 演題名、所属及び演者名、本文の順に記載し、それぞれ一行あけて下さい。
- 4) 演題名のみを文字サイズ12ポイントとして下さい。

シート一式とは、①一般情報シート②生活行為向上マネジメントシート（事例報告用）③生活行為課題分析シート④社会資源情報シートです。これらはOT協会ホームページからダウンロード・印刷してご使用下さい

2. 発表方法

当日は発表データをUSBメモリー等の記録媒体でご持参ください。順番になりましたら演台にて記録媒体を挿入し、発表者がPCを操作し発表を始めてください。

発表時間は、発表10分・質疑応答20分となります（時間厳守でお願いします）。

発表形式は全て口述発表となります。発表は、PCとMicrosoft Power Point（Windows版2010まで）を使用したデジタルプレゼンテーションです。

3. 発表スライドの作成方法

報告書の内容に基づき、発表用スライドを作成してください。発表用スライド枚数は自由ですが、発表時間10分以内で説明できる枚数にしてください。

動画（アニメーション機能は除く）、音声の使用はできません。

また、発表スライドは、必ず事前に最新のウイルスチェックを行ってください。

文字化け、画面レイアウトのバランス異常を防ぐ為、使用するフォントはPower Pointに標準設定されているフォント（日本語：MS明朝・MSゴシック、英語：Arial・Century・Times New Roman）を使用してください。